

山口県地域子育て文化づくり促進委託事業

平成22年度 家庭教育支援・自然環境教育事業

第27回 親子の絆をつむぐ

子ども自然体験キャンプ in 阿蘇：報告書

日時：平成22年8月21日(土)～8月25日(水)

場所：国立阿蘇青少年交流の家

参加対象：小学3年生～中学2年生



主催

NPO法人 森と海の学校

青少年の健全育成と社会教育の推進を目的として設立された公益法人です。  
平成21年3月：パナソニック教育財団「心を育む教育フォーラム」特別賞受賞

〒759-0206 宇部市大字東須恵 1271-15

Tel 41-5435 Fax 44-4423

E-mail seiji@okamura21.com

<http://www.okamura21.com>

共催：SYD修養団宇部市連合会

後援：宇部市教育委員会、宇部日報社



キャンプに参加してくれた子どもたちへ  
『縁は人生の宝』

キャンプ長 岡村 精二

昭和59年から始まった4泊5日の子ども自然体験キャンプですが、今年も無事に終わることができ、117名の元気な笑顔に出会うことができました。

キャンプ中にもお話しましたが、「人との出会い」「言葉との出会い」は人生をも左右する大きな力を持っています。

「夢を夢のままにせず、その実現に向かって、努力することが、生きることだ。」

18歳のときに会ったこの言葉が、ヨットによる単独太平洋横断を私に決断させる大きな力となりました。

子ども自然体験キャンプも君たちにとって、きっと『人生の大きな出会い』になってくれたと信じています。

自然との出会い、友との出会い、そして何よりもの出会いは、お父様お母様との新たな出会いだったと思います。お手紙を読みながら、涙の中で確かめた父母の思いを大切にしてください。

そして、家族を大切にしてください。必ず、人様のお役に立てる人になってください。

保護者の皆様へ

最後になりましたが、今回の子ども自然体験キャンプにお子様を参加させていただきました保護者の皆様に心より厚くお礼申し上げます。

子どもたちは5日間、本当によく頑張りました。楽しく、子どもらしく過ごしました。

いつの日か、子どもたちの心に素晴らしい思い出として、よみがえってくれることを願っています。ありがとうございました。

第27回子ども自然体験キャンプ in 阿蘇 (日程)

8月21日 (土) (1日目)	7:30 宇部市役所前集合 8:00 出発 宇部IC(3箇所トイレ休憩)-熊本IC経由 12:30 阿蘇神社着・昼食(各自、弁当持参) 14:00 青少年交流の家着 14:30 入所式 オリエンテーション・仲間づくり 16:00 班別活動・レクリエーション 17:30 夕食・入浴 20:00 班別活動 22:00 就寝 (テント泊)
8月22日 (日) (2日目)	6:30 起床・洗面 7:15 朝の集い・朝食(野外炊飯) 片付け 10:30 阿蘇神社 ハイキング・『水基(湧き水)めぐりウォークラリー』・昼食(弁当) 16:00 キャンプ場帰着 休憩 17:00 入浴・夕食 班別活動 20:30 講話「親子のきずな」 22:00 就寝 (テント泊)
8月23日 (月) (3日目)	6:30 起床・洗面 7:15 朝の集い 7:30 (朝食) 9:00 A「感想文書き」・B「仙酔峡(川遊び)」 12:00 昼食 13:00 A「仙酔峡(川遊び)」・B「感想文書き」 16:00 野外炊飯・夕食・片付け 19:00 入浴 20:30 班別活動(レクリエーション) 22:00 就寝 (テント泊)
8月24日 (火) (4日目)	6:30 起床・洗面 7:15 朝の集い 8:00 朝食(野外炊飯) 11:00 野外炊飯 昼食・釜戸等片付け 15:00 阿蘇高原での草すべりとレクリエーション 16:30 出し物準備 18:30 夕食・入浴 班別活動 20:00 阿蘇フェスティバル 22:00 就寝 (テント泊)
8月25日 (水) (5日目)	6:30 起床・洗面 7:45 朝食(携帯食) 9:30 退所式、10:00 バス乗車 11:00 「パンくんとジェームスくん」公演見学・昼食(弁当)・買物 13:30 バス乗車(熊本IC(3箇所トイレ休憩)-宇部IC経由) 18:15 宇部市役所前着 解団式 18:50 解散

活動内容は <http://www.okamura21.com> でご覧下さい。

キャンプの感想文

「お手紙を読んで」小学6年生の女の子

私は、お父さんとお母さんとお姉ちゃんに手紙をもらって、とてもうれしかったです。私は、去年行く時も、その時に私をきいてくれていました。でも、その時に私をきいてくれていたお父さんやお母さんやお姉ちゃんからはなしてくれませんでした。お父さんやお母さんやお姉ちゃんから、言ってくれました。すぐに友達でできるから大丈夫。と言ってくれました。私は、その言葉を聞いて、とても勇気が出てきました。その言葉のおかげで、今こうして班の友達、他の班の友達と仲良くできたのだと思います。私が、手紙を読んで一番泣いたことは、お父さんやお母さんが、命がやばいとママのもとに来てくれたことがキセキです。と言った言葉です。読んですぐお父さんたちと会いたいと思う気持ちが強まりました。

キャンプの感想文

「お手紙を読んで」小学6年生の女の子

私は三枚の手紙をいただいたうれしかったです。お父さんお姉ちゃんそしてお母さんとふだんはテレくさくて話せない事をい。書いてくれる所です。私が生まれた時、お父さんが会社からかけつけてくれた事、私の名前の意味、二つとも教えてもらって、はい、たけれよく考えてはいませんでした。でもこのキャンプでとてもよく考えました。考えれば考えるほど涙がボロボロボロボロボでたまりました。でも、とてもうれしかったです。姉の手紙にはすぐにあきらめず、くじけずやりたい事があればや、ておと書いてありました。だからこれからはあきらめず、くじけず本当にやりたい事はや、てみたいと思います。おじいちゃんやおばあちゃん、お姉ちゃん、お母さんお父さんを大事にしようと思。た事は、こんな大事にしていてくれるから私もちゃんと話しを聞いてい。はい話したいです。

私は、陸上を習っています。私は、最近記録が伸びず、苦戦していました。そんな時にお父さんからもらって、手紙にこう書いてありました。「夢目標さえあれば、心が変わり、生き方が変わり、すべてが変わる。」と書かれています。そして私は気付きました。「目標を持ってはいいいんだ。」と思いました。私は、三年間ずっと陸上をやって目標と、言うか、向かっていて、ませんでした。お父さんは、目標と言う言葉を気付かせてくれました。だから今からでも自分の目標を作り、その目標に向か、てかんば、ていきたいです。私は、お父さんやお母さんの手紙を読んで、絶対に詩を守り、大切にしたいと思、ていきますよ。と書いてあり、私は涙が止まりませんでした。私は、そんな大切な事に気付かせたくれた、この手紙を宝物にしたいと思いました。

思います。あと、おばあちゃんの中にはよく行くようにしたいと思、ています。できるだけ話しかけておくれあ。てはやく元気にな、てほしいです。お姉ちゃんともけんかするかもしれないけど、仲良くや、ていきたいです。お父さんとも外でい、はい遊んでもらいたいと思、ています。あとお母さんとは時間があ、る時、い、はい話したいです。これからはおばあちゃんや、家族をも、と大切にしたいと思、ています。私はこの手紙を今から大人になるまで持、ておきます。私はこの手紙を読んでとても感動しました。このキャンプに来て本当によかった。このキャンプに来ていなか、たらこんな感動はできなかつたと思、ています。ものすごくおばあちゃん、お姉ちゃんそしてお母さん、お父さんのことをかんがえられました。本当にこの手紙を読んで、ふかく考えられてなかつた。たとや、テレくさくてよく話せなかつた事が書いてあ、ても感動しました。本当によかつたです。

お母さんへ  
 ぼくは、宇部市やくしを、出る時は、キ  
 ンブにいくのは、いやだ、たけど、いまは  
 楽しいです。ぼくの友達がい、はい、い  
 らです。ぼくの友達、あつしくんと、岩村  
 くん、三のくんとれんくんです。きょうは、  
 水ぎめぐりをしました。歩いて2時間かか  
 りました。そして、ぼんを食ました。次に、  
 おき木さがしをしました。おきみずのあると  
 ころは、20か所ありました。たけとゆかし  
 つけられませんでした。でも、いりるな水が  
 あ、てそれは、全ふおいしか、たです。  
 そのあとは、かきがありを、食やました。  
 今日、は、さあ、のぼりをしました。さいし  
 は、あさ、い、川だと思、てたけど、と、も  
 つかか、たです。川の中に入ると思、たいじ  
 ように冷たか、たです。さいしは、流れが  
 ちよと、ゆるやかた、たけれと、あとから  
 泳れが、強くなりました。川の中は、冷たか  
 めで、てかこあると思、ました。たけとなれ

で、ぎました。上りゅうの方に、いと、と  
 て、も、流れがきりうで、ぼくは、一度流れ  
 うになりました。たきに、行くとき、たきか  
 ありました。たきに、行くとき、たきか  
 あ、た、て、と、も、いたか、たです。そし  
 て、川をあか、て、おべんとうになりました。  
 あ、たんとうは、いろいろな、おかすが入  
 ていて、おいしううでした。ところかあつし  
 くんのおべんとうか、くりかえ、て、大い  
 なことになりました。たけとみんなのおか  
 をちよとあつあげました。さあ、のぼりは、果  
 しか、たです。  
 お父さんと、お母さんには、あと3日、あ  
 えな、い、けど、心はいしな、り、で、く、た、さ、い、ぼ  
 くは、この3日間は、友達と仲よく、あそ  
 ぶのが、目標です。おみやげをか、て、くる  
 と、な、ま、た、い、と、り、て、く、た、さ、り、け、ん、た、も  
 友達と仲よく、な、た、み、た、い、です。  
 ぼくは、い、き、ま、は、一、元、気、で、す、な、か、ら、体、の、こ、と  
 ぼくは、い、し、な、い、で、く、た、さ、り、

- 1. **子ども自然体験キャンプ**：昭和59年以来、毎年実施している4泊5日のサマーキャンプです。参加対象は小学生から中学生。リーダーは高校生や大学生で構成しリーダー育成の場ともなっています。
- 2. **Project 松陰 ジュニア洋上スクール**：客船を利用した7泊8日の洋上研修です。参加対象は小学生から中学生。直接子どもたちを指導するリーダーは、過去に参加した経験のある高校生・大学生です。



- 3. **チャレンジ・クルーズ**：大型ヨット2隻による7泊8日の海洋研修で、参加対象は小学4年生から高校生約20名。平成16年には韓国への10泊11日の航海研修を行いました。



- 4. **子ども匠の学校**：3世代交流・伝統文化継承・男女共同参画社会の推進事業として、専門家の協力を頂き「物づくりの楽しさ、匠の技、日本文化の素晴らしさを伝えたい」をテーマに開催しています。



- 5. **親子の絆を育む活動**：キャンプの3日目、子どもたちが最も「父母の逢いたい」と思っているときに、ご両親からのお手紙が届けられます。目に涙して「自分にとって父母とは何なのか」を学びます。



ご両親からの手紙を活用した研修を平成4年以来、7000名の子どもの対象に実施しています。